

## 令和7年度地区懇談会（幌別西地区） 議事録（概要）

令和7年10月20日（月） 18:00～19:30

市民会館 出席者23名

### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

#### （1-1）幌別川中洲の土砂・樹木除去について

##### 概要説明：幌別西地区連合町内会

- ・ 幌別地区では、幌別川中洲の土砂堆積と樹木が川の流れを妨げ、大雨時に氾濫の危険を高めていることが重大な課題になっている。これまで野鳥保護などの理由で樹木伐採に消極的な方々もいたが、最近の線状降水帯の大雨被害を踏まえ、市民の不安が、消えていくような訴えかけをしていただきたい。

##### 回答：都市整備部

- ・ 河川管理者である胆振総合振興局室蘭建設管理部登別出張所に確認したところ、幌別川の中洲の伐木等については、これまでも継続的に実施してきており、近年の実績としましては、小平岸橋上流側となりますが、平成30年度に80m、令和2年度に70m、令和4年度に500mを実施したと聞いている。
- ・ また、河口付近となりますが、来馬川の合流点から上流側約60m区間の浚渫も実施したとのことである。
- ・ また、今年度については、旧登別大谷高校の横にある来福橋からコープさっぽろの横にある桜新橋までの区間において、堆積している土砂の一部を除去すると、中洲に繁茂している樹木の一部伐採を12月頃から行う予定であると聞いている。
- ・ この件につきましては、広報のぼりべつ11月号に幌別川の維持工事についてのお知らせとして掲載する予定なので確認いただきたい。
- ・ また、来年度以降も、日常的なパトロール等により胆振幌別川の土砂等の堆積状況の把握に努め、流下能力を阻害していると判断した場合には、生物の生息、生育環境の保全に配慮しながら、地元の環境保護団体等と協議を行い、理解を得ながら浚渫等を実施してまいりたいと聞いている。

### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

#### （1-2）樋門の管理は、誰がどのように閉めたりするのか

##### 概要説明：幌別西地区連合町内会

- ・ 樋門は誰がどのような形で開け閉めをしているのか。

##### 回答：都市整備部

- ・ 樋門は右岸・左岸合わせて計5基で、施設の所管は北海道ですが、維持管理は北海道

から登別市へ委託されている。

- ・ 開閉の判断は北海道・登別市いずれも同じ考え方で、河川（外水）の水位上昇により宅地側（内水）へ逆流し始めた、または逆流の恐れがある場合に樋を閉める。降雨状況や地域の状況を調査し、逆流が想定される場合は一旦全ゲートを閉じ、その後外水・内水の水位差を観察して慎重に操作する、という運用である。

#### 質問：幌別西地区連合町内会

- ・ これまで操作ができなかったことはあるか。

#### 回答：都市整備部

- ・ 普段の維持管理をしっかりと行っているので操作ができなかったことはないが、これまで全閉にしたことはないと記憶している。

### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

#### （1－3）流下能力幌別川中州の土砂・樹木除去について

#### 概要説明：幌別西地区連合町内会

- ・ 幌別ダムについて、幌別川が氾濫しないように放流する際に、どれくらいの量（時間あたりの量など）を放流できるのか。

#### 回答：総務部

- ・ まず幌別川については、工業用水を供給する目的のダムのため、洪水の調節を目的とする治水ダムではないので、水を貯める貯水容量を持っていないダムとなる。
- ・ そのため、ダムに入ってくる水量と同じ量をダムから流すのが基本であると聞いているが、昨今の線状降水帯による洪水被害というものが全国で多発していることを受け、これを軽減する目的で河川管理者である北海道及びダム管理者である企業局、日本製鉄において、大規模な洪水が想定される場合には、利水容量の一部を事前に放流できる協定というものを締結していると聞いている。
- ・ 9月13日の大雨の際には、予想降雨量が180mmの線上降水帯発生の恐れがあり、洪水警報がかなりの確率で発表されるという見込みであったが、この時は協定で定めた予想降雨量基準（24時間で311mm）という基準には達しないということで、事前放流はされなかった。
- ・ そのため、この9月13日の時は、結果として雨が強くなってから、まとまった量の放水があり水位が上がったことから、幌別川流域の皆様にご不安を与えたこととなったと認識している。
- ・ この時は、最大で毎分320トンの放流があったとのことで、この事態を踏まえ、その週のうちに市長から直接北海道公営企業管理者（北海道のダム管理のトップ）の方に対して、事前放流のもっと柔軟な対応を強く要望したところである。
- ・ その後、翌週20日の大雨の際には、事前放流基準に達していなかったが、雨が降る

前の午前中から事前放流が行われて、幌別川の水位が、基準以上に上昇しないように調節してもらうことができた。

- ・ この際には毎分最大で90トンと、前回の3分の1以下の量での放水となり、毎分放水量を下げて時間をかけて放水をしている。
- ・ 今後についても、河川水位や気象情報、上流山岳部の降雨情報を適宜企業局と情報共有をしながら、本格的に雨が降る前から早い段階での事前放流を求めていきたいと考えている。

#### 5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

##### (2) 片倉町内会の公営住宅撤去について（ユーチューブに出ている）

###### 概要説明：幌別西地区連合町内会

- ・ 幌別西団地がユーチューブに出たことで、いたずらで入ろうとする人がいるかもしれない。その対策と撤去のスケジュールについてお聞きしたい。

###### 回答：都市整備部

- ・ 現在のところ、除却する予定等は決まっていないので、今後その対応について検討を進めていきたい。
- ・ これまでの取り組みとしては、侵入防止の看板を通路に設置したり窓にコンパネを貼ったりといった対応を行っているほか、定期的に確認を行い異常などの有無について調査を実施しているので、今後も継続して確認を行っていきたい。

###### 質問：幌別西地区連合町内会

- ・ 市民に対して速やかに状況や情報提供を行ってほしい。
- ・ 可能な限り早く撤去できるよう対応を進めてほしい。ロープなどが飛ばされる・YouTube等で来訪者が増えており、立ち入りや若者の侵入を防ぐための確実な立ち入り禁止対策を講じてほしい。
- ・ 木造のため火災が起きると重大なことになるので、その防火対策についてもどう考えているか教えてほしい。

###### 回答：都市整備部

- ・ 日常的な点検、パトロールで、悪いところあれば対応をして、できるだけ危険が伴わないような対応を取りたい。

###### 意見：幌別西地区連合町内会

- ・ 毎日とは言わないが、月に1回2回ぐらいはしっかり確認しながら、事故が起きないようにしていただきたい。
- ・ 特に木造なので、火の不始末があった場合大変なことになると心配してる方がいるので、その部分を考えてやっていただけたらと思う。

**そのほか：幌別西地区連合町内会**

- ・ 幌西地区においてダンボールベッドの体験をまだやっていないと聞いているので、やっていただけたらと思う。

**回答：総務部**

- ・ ダンボールベッドや避難所の運営などにかかる研修会など、要望があれば実物をお持ちし、担当も立ち会い、作り方などを教えながらどのように避難所を作っていくかなどの研修などは、開催することができる。
- ・ 日程等合えば、できる限り一緒にやっていきたい。

**6. 市からの情報提供事項**

**(資料4) 新しい市役所本庁舎の整備について**

**説明：総務部**

- ・ 資料に基づき説明を行う。
- ・ 質疑なし

**6. 市からの情報提供事項**

**(資料5) 中央地区のまちづくりについて**

**説明：総務部**

- ・ 資料に基づき説明を行う。
- ・ 質疑なし

**6. 市からの情報提供事項**

**(資料1) 津波発生時の対応について**

**説明：総務部**

- ・ 資料に基づき説明を行う。
- ・ 質疑なし

**その他**

**質問：山手町内会**

- ・ 課題1の関係で、広報で情報を流すとのことであったが、どのくらいの規模でいつ頃終わるのかをお聞きしたい。

**回答：都市整備部**

- ・ 延長などのことは胆振総合振興局室蘭建設管理部登別出張所からは聞いていないが、引き続き多めに実施してもらいたいという要望は伝えている。

**意見：山手町内会**

- ・ ある程度どれくらいの幅でやるのか、どれくらいの期間でやるのかについて明記していただきたいので、北海道に要請をし、早期に対応を願いたい。